

<英文法超基礎⑧> Lv.★★★★☆☆ 不定詞④(53~55)

① 意味上の主語をofで表す用法

「It is ㊦ to V～」の形式主語構文で㊦の部分に kind や careless のような (1.) 形容詞 が来ると、不定詞の意味上の主語は (2.) ではなく (3.) になる! 「4. 」と訳す!

(例) It is careless of you to say such a thing.
「そんなことを言うなんてあなたは不注意だ」

<人の性質を表す形容詞>

(5.) : 「親切だ」 / (6.) : 「不注意だ」
(7.) : 「愚かな」 / (8.) : 「賢明な」
(9.) : 「礼儀正しい」 / (10.) : 「無礼な」 など

② 不定詞の副詞的用法まとめ

① 目的: 「11. 」 ← (12.) / (13.)

I started early to avoid the rush hour. でも表せる!
「ラッシュアワーを避けるために私は早く出た」

② 結果: 「14. 」 ← よく出る形を覚える!

<結果用法でよく用いる表現>

• (15.) : 「16. 」 / (19.)
• (17.) : 「18. 」 / 「20. 」
• (21.) : 「22. 」
• (23.) : 「24. 」

③ 感情の原因: 「25. 」 I'm happy to meet him. 「彼に会えてうれしい」

④ 形容詞の限定 ← あとで詳しくやります! → 「タフ構文」と言われている

This computer is easy to carry. 「このコンピュータは運びやすい」

⑤ 判断の根拠: 「26. 」

I was careless to lose my bag. 「カバンをなくすなんて私も不注意だった」
= It was careless of me to lose my bag.

⑥ 条件: 「27. 」 ← L⑧4 でやった仮定法の用法!

To hear you passed the exam, she would be surprised. 「あなたが試験に合格したのを聞けば、彼女は驚くだろう」

③ タフ構文について

形式主語構文: It is easy to carry this computer.

タフ構文: This computer is easy to carry (○).
→ (28.) になるのがポイント!

< タフ構文に使える形容詞 >

難易度系: (29.)・(30.)・(31.)・(32.)
快・不快系: (34.)/(35.):「楽しい」
(36.):「便利な・都合がいい」など
危険・安全系: (37.)・(38.)
その他: (39.):「不可能な」← (40.)は不可!

↑ ①をSにできないが、タフ構文のときだけ①をSにできる!!

(X) I am difficult to get along with him. ※ get along with A: 「Aとうまくやる」

(O) He is difficult to get along with. 「彼は付き合いにくい人だ」

タフ構文は話し手が感じる「41. 」を表す構文!

→ 人の性質・性格を表さない difficult など、その人に対する 41 を表すために使う!

☆ 仮主語構文とタフ構文の意味のちがい

(仮主語): It is difficult for me to get along with him.

(タフ): He is difficult to get along with.

仮主語 彼は「42. 」を表すので、現在形であれば「(今回に関しては)、過去形であれば(あのとき)、～な状況だ・状況だった」というニュアンスになる。

It is difficult for me to get along with him.

「(今回)彼とうまくやるのは難しい(状況だ)」

タフ構文は主語に 他ではなく、(43.)がくるので、一時的な状況の話ではなく、その人や物がもつ「44. 」を表す!

He is difficult to get along with. 「彼は付き合いにくい人だ」

→ 「彼ってこういうヤリよね」というイメージ!